

第1章 対策推進計画策定

1. 営農対策の普及計画

営農対策の普及計画は、「轟川流域農地赤土対策営農普及マニュアル」及び営農対策目標（H24年度目標・フルプラン）並びに農家向けリーフレットに基づき、関係機関によって効率的な普及推進を行う。

①協議会又は関係機関推進会議による、「轟川流域農地赤土対策営農普及マニュアル」及び営農対策目標と現状の確認会議の開催

②推進者（関係機関等）による地域懇談会又は生産出荷組合（仮称）において、農家向けリーフレットを活用した営農対策方法の説明と、赤土等流出危険度マップを利用した具体的なほ場条件の提示と、判り易い対策目標を提示し、対策を支援する

石垣島の一般的な農家に対して、赤土等流出対策を効率的に推進する場合の農家への説明内容は、以下のとおりとなる。

対策	説明内容	支援対策
①「さとうきび増産プロジェクト」に基づいた作付体系変更の推進 	・石垣島のサトウキビ植付面積 夏植植付面積の1.3割減 2,098ha : 1,831ha = 100% : 87% 春植植付面積の7割増 210ha : 357ha = 100% : 170% 株出植付面積の1.7割増 326ha : 382ha = 100% : 117%	・「石垣島さとうきび増産プロジェクト会議」でサトウキビの生産目標が策定され、石垣島の平成27年産の作型別目標収穫面積割合は夏植：春植：株出＝55%：21%：24%とし、土づくりの推進と作業受委託による適期植付、肥培管理による単収の向上が推進されることとなる。
②シガラエ（葉ガラ梱包） 	・夏植サトウキビ更新ほ場、春植サトウキビほ場及びパインアップルほ場にシガラエ（葉ガラ梱包）対策を行うことを推進する。	・石垣島ではシガラエ（葉ガラ梱包）対策が盛んに行われており、今後も継続して石垣市や関係機関でシガラエ（葉ガラ梱包）の設置を指導していくことにより対策の推進が可能となる。
③敷き草マルチ（葉ガラ全面マルチ） 	・収穫から植え付けまでの裸地期間解消のため、夏植サトウキビ更新ほ場に敷き草マルチ（葉ガラ全面マルチ）対策を行うことを推進する。	・石垣島では敷き草マルチ（葉ガラ全面マルチ）対策が普及し始めており、今後も継続して石垣市や関係機関で敷き草マルチ（葉ガラ全面マルチ）を指導していくことにより対策の推進が可能となる。
④カバークロープ（緑肥） 	・収穫から植え付けまでの裸地期間解消のため、敷き草マルチ対策畑を除く夏植更新ほ場に緑肥対策を行うことを推進する。	・石垣島では緑肥対策が盛んに行われており、今後も継続して石垣市や関係機関で緑肥作物の植付を指導していくことにより対策の推進が可能となる。
⑤グリーンベルト 	・石垣島ではグリーンベルト対策が盛んに行われていることと、平成14～16年度流域環境保全農業確立体制整備モデル事業における轟川流域農地赤土対策農家アンケート調査で、約6割の農家が資材の提供があればグリーンベルト対策を行うと答えた結果を参考にし、被覆変化作物（年間に裸地が発生する作物）ほ場の6割に設置することを推進する。	・石垣島では、グリーンベルト対策が盛んに行われており、苗ほも設置されている。今後も継続して石垣市や関係機関でグリーンベルトの設置を指導していくことにより対策の推進が可能となる。 （支援事業） 水質保全対策事業、直営施工、農地・水・環境保全向上対策

2. 土木対策の段階的整備計画

土木対策の段階的整備計画では、地区設定によって区分された区域別に年度毎の事業導入計画(案)を策定した。ここでは、理想的に事業が導入された場合を想定して整備計画を行った。

なお、石垣島のH24年度土木対策目標は、南部域を重点とした計画となっている。

一般に水質保全対策事業は、5~6ヶ年の工期で実施され、初年度に測量試験(実施設計等)を行い、次年度以降から工事を実施する。したがって、本計画においても事業初年度に測量試験を行い、これ以降に工事を行うものとして計画した。計画では、できるだけ早期に事業効果が発揮されるよう、発生源対策及び沈砂工(沈砂池・浸透池)を事業実施前半に施工するものとした。

また、設定地区の実実施順序は、各地区における現況流出量が大きい地区を優先して計画した。石垣島における事業実施工程(案)及び各年度の要整備量を以下に示す。なお、以下の地区は、マスタープランで設定した地区であり、その名称は仮称である。そのため、実際の採択地区における事業量及び事業費とは異なる。

表3-1 土木対策の段階的整備計画

地区名(仮称)	整備年度										備考		
	H16以前	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25以降			
盛山地区	●	●										轟川流域農地対策マスタープランより	
与那原地区	●	●										同上	
石垣第1地区	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	同上	
石垣第3地区	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	同上	
石垣第5地区		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	同上	
石垣第6地区			●	●	●	●	●	●	●	●	●	同上	
石垣第7地区				●	●	●	●	●	●	●	●	同上	
石垣第8地区					●	●	●	●	●	●	●	同上	
(既存継続地区)				●	●	●	●	●	●	●	●	石垣市第2.4地区(継続) 磯辺川第1地区(H19新規)	
新川第4地区				●	●	●	●	●	●	●	●		
名蔵・崎枝第1地区					●	●	●	●	●	●	●		
宮良第3地区					●	●	●	●	●	●	●		
新川第3地区						●	●	●	●	●	●	H24まで沈砂工10基	
宮良第1地区						●	●	●	●	●	●		
新川第2地区							●	●	●	●	●	H24まで沈砂工5基	
宮良第2地区							●	●	●	●	●	H24まで沈砂工5基	
白保第1地区									●	●	●	H24まで測定のみ	
新川第1地区									●	●	●	H24まで測定のみ	
要 整 備 量													
工 種	単位	フルプラン										合計	
		平成24年度 目標											
		H16以前	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	計	H25以降	
勾配修正工	ha	1.0	1.9	1.9	3.8	1.8	1.8	6.1	0.8	-	19	323	342
斜面長修正工	ha	4.8	1.9	1.9	11.5	1.8	7.4	2.0	11.5	13.6	56	312	368
沈砂工	基	1	2	1	13	1	2	7	16	28	71	525	596
排水路工	m	5,796	6,636	3,611	14,272	6,466	7,648	6,762	3,463	1,960	56,613	159,711	216,324
測量試験地区		4	-	1	1	2	3	2	2	2	17	-	-

※表中のH19要整備量には「継続地区」数量が含まれる。なお、継続地区(石垣市第2.4地区及び磯辺川第1地区)の数量は流出削減量検討に用いた値。

凡例：
 ●.....勾配修正工・斜面長修正工
 ●.....沈砂工
 ●.....排水路工・その他
 ●.....測量試験
 ●.....事業全体

石垣島全域 水質保全対策事業地区設定(案)

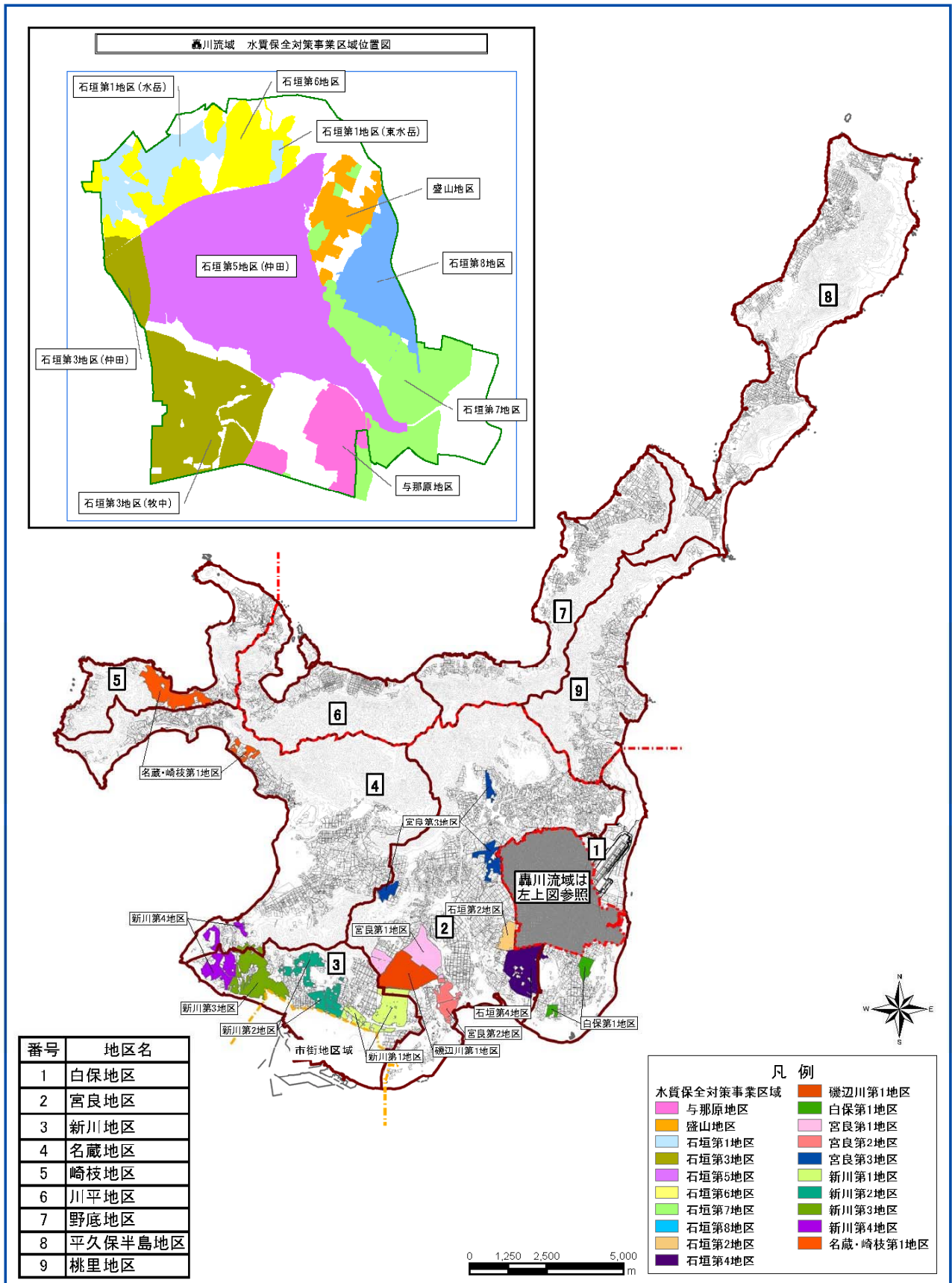


図3-1 水質保全対策事業地区設定(案)